

彼杵小学校 コミュニティだより

No. 3(平成29年9月19日)

発行責任者

彼杵小学校学校運営協議会

委員長 森 保憲

第3回学校運営協議会(7月18日)

～テーマを決めました！～

第2回協議会で「どんな子どもに育ってほしいか」「彼杵っ子のよいところ」「彼杵っ子の課題、もっと伸ばしたいところ」の3つのテーマについて話し合いをしました。下は集約した意見をまとめたものです。

「どんな子どもに育ってほしいか」

- 自信を持って堂々と自分の考えを言える子
- 優しい子、思いやりのある子
- 善悪の判断ができ、責任感のある子
- ※その他
 - ・あいさつができる、物を大切に
 - ・する、生命尊重、地元を大切に
 - ・する等



「彼杵っ子のいいところは？」

- 素直、思いやりがある、まじめ
- 元気、外遊びがすき
- 子ども同士が仲良し
- ※その他
 - ・運動会で見せた団結力、地域住民との交流が多い 等



「彼杵っ子の課題、もっと伸ばしたいところ」

- もう少し、積極的に自己主張をしてほしい。大きな声で思っていることを話してほしい。
- 地域の文化、施設等を大切にしてほしい。
- けじめをつけた生活
- ※その他
 - ・言葉づかい、もっと外遊びをしてほしい、地域行事にもっと参加してほしい 等

上の意見をもとに、コミュニティスクールとして今年1年取り組むテーマを話し合いました。テーマ案は原校長が提案しました。

その結果、テーマは、「ふるさとに誇りと愛着を持ち、心豊かにたくましく生きる彼杵っ子の育成」、サブテーマは「地域ぐるみで子どもを育てるコミュニティスクール」に決まりました。下は、彼杵小学校のコミュニティスクールを、文科省が示しているモデル図に従って表したものです。

左側が、コミュニティスクールを表しています。学校運営協議会が中心となって、学校作りをしていきます。そして、右側に示した「家庭・地域」の様々な実働体が、必要に応じて、学校教育に参画していく仕組みを示しています。コミュニティスクールは、「地域ぐるみ」という言葉がとても大切です。

地域の皆様には、これまで以上に、学校へ出向いていた

